

Chromebook用セキュアクライアントのトラブルシューティングログのキャプチャとエクスポート

内容

[はじめに](#)

[背景説明](#)

[保護が有効になっていることの確認](#)

[ログの収集](#)

[コンソール ログ](#)

[ネットワークログ](#)

[パケット キャプチャ](#)

[Chrome OS ネットエクスポート ログ](#)

[関連記事](#)

はじめに

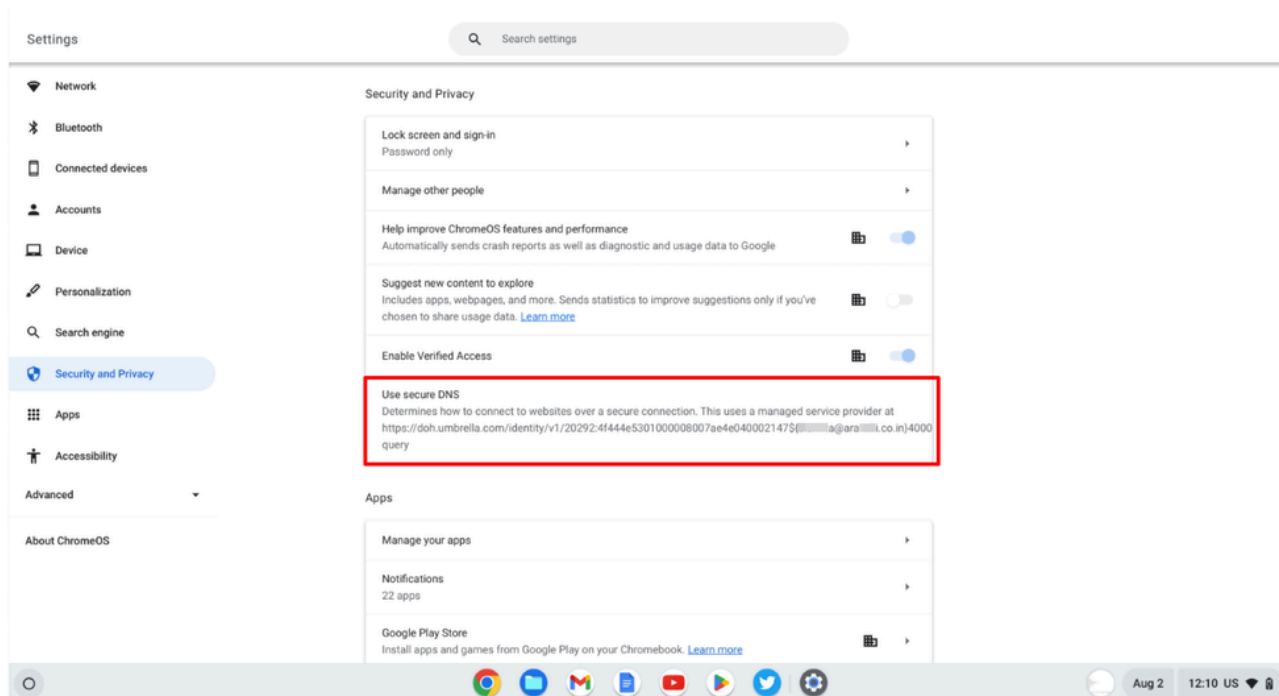
このドキュメントでは、Cisco Secure Client for Chromebookのトラブルシューティングに役立つ情報とログを収集する方法について説明します。

背景説明

Cisco Secure Client for Chromebookは、以前はUmbrella Chromebook Clientと呼ばれていました。ログを収集する前に、Cisco Secure Client for Chromebookが正しくインストールされ、有効になっていることを確認します。ネットワーク関連のシナリオのログとパケットキャプチャを使用してトラブルシューティングの効率を向上させるための予備チェックリスト項目を完成させます。

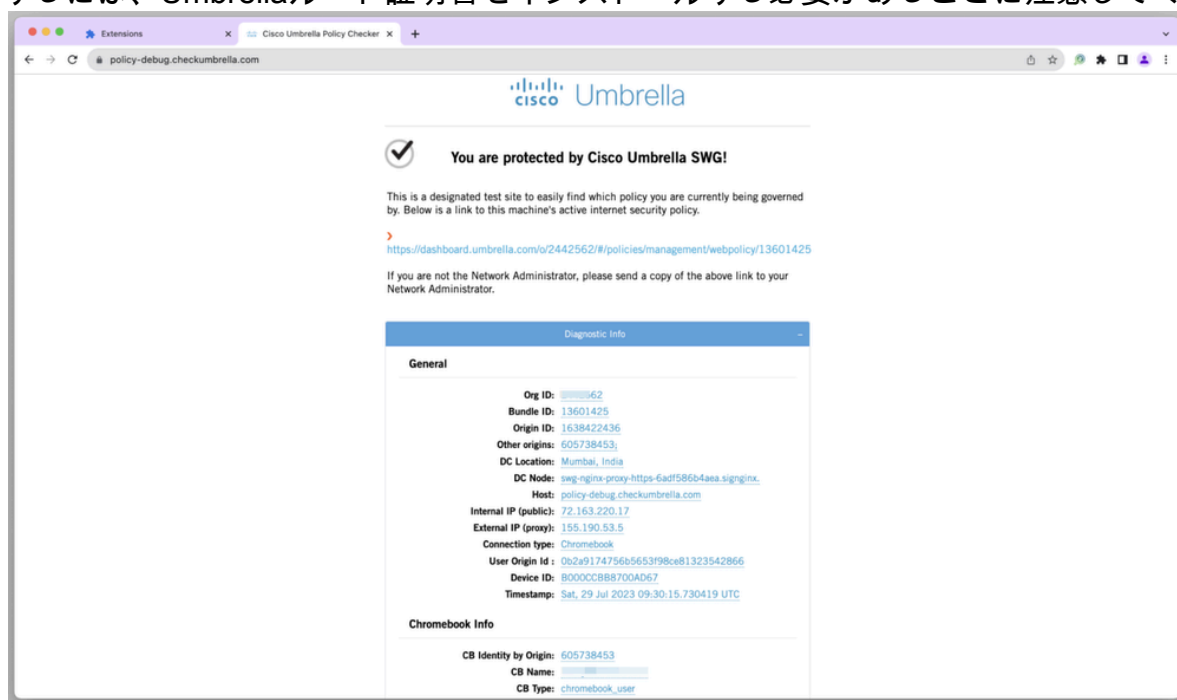
保護が有効になっていることの確認

1. Chromebookで解決済みのDoHテンプレートを確認するには、Settings > Security and Privacyの順に選択します。Use secure DNSセクションに、<https://doh.umbrella.com/identity>の後にユーザの電子メールアドレスのエントリがあります。



21170242709652

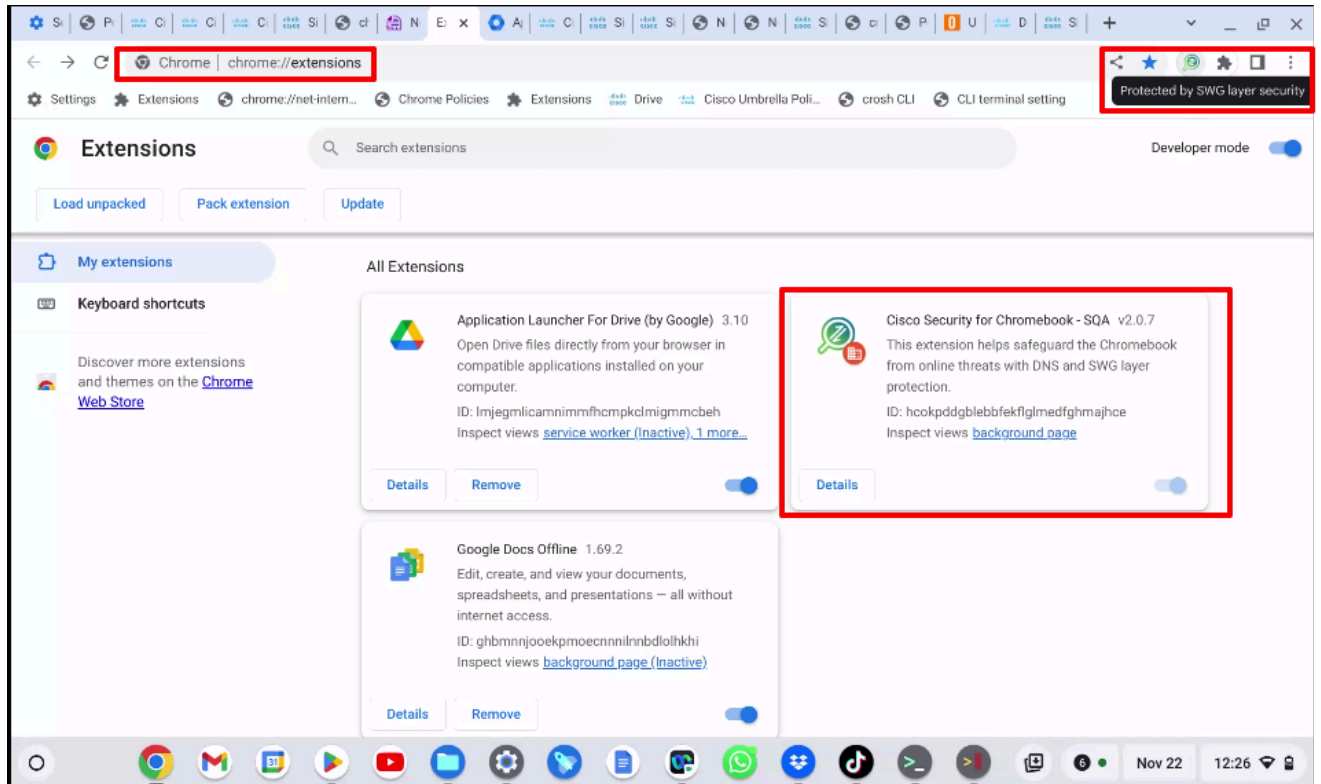
2. ポリシーの詳細を表示するには、<https://policy-debug.checkumbrella.com>に移動します。情報を表示するには、Umbrellaルート証明書をインストールする必要があることに注意してく



ださい。

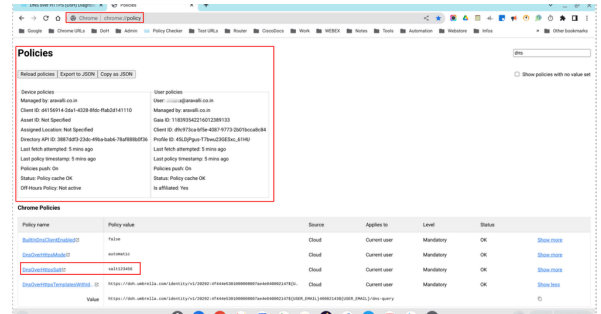
21170259558804

3. Cisco Secure Client for Chromebookが正常にインストールされたことを確認します。これは、chrome://extensionsで確認できます。保護のステータスは、拡張アイコンにポインタを合わせると表示できます。



21170235125268

4. Chromebookデバイスのクロックが、信頼できる時刻源と正しく同期していることを確認します。クロックが同期されていないと、Fail OpenやFail Closeなどの誤った保護状態にChromebookが置かれる可能性があります。
5. chrome://policyページのユーザポリシーが、Umbrellaダッシュボードで設定されているポリ



シーとsaltの値と一致するかどうかを確認します。

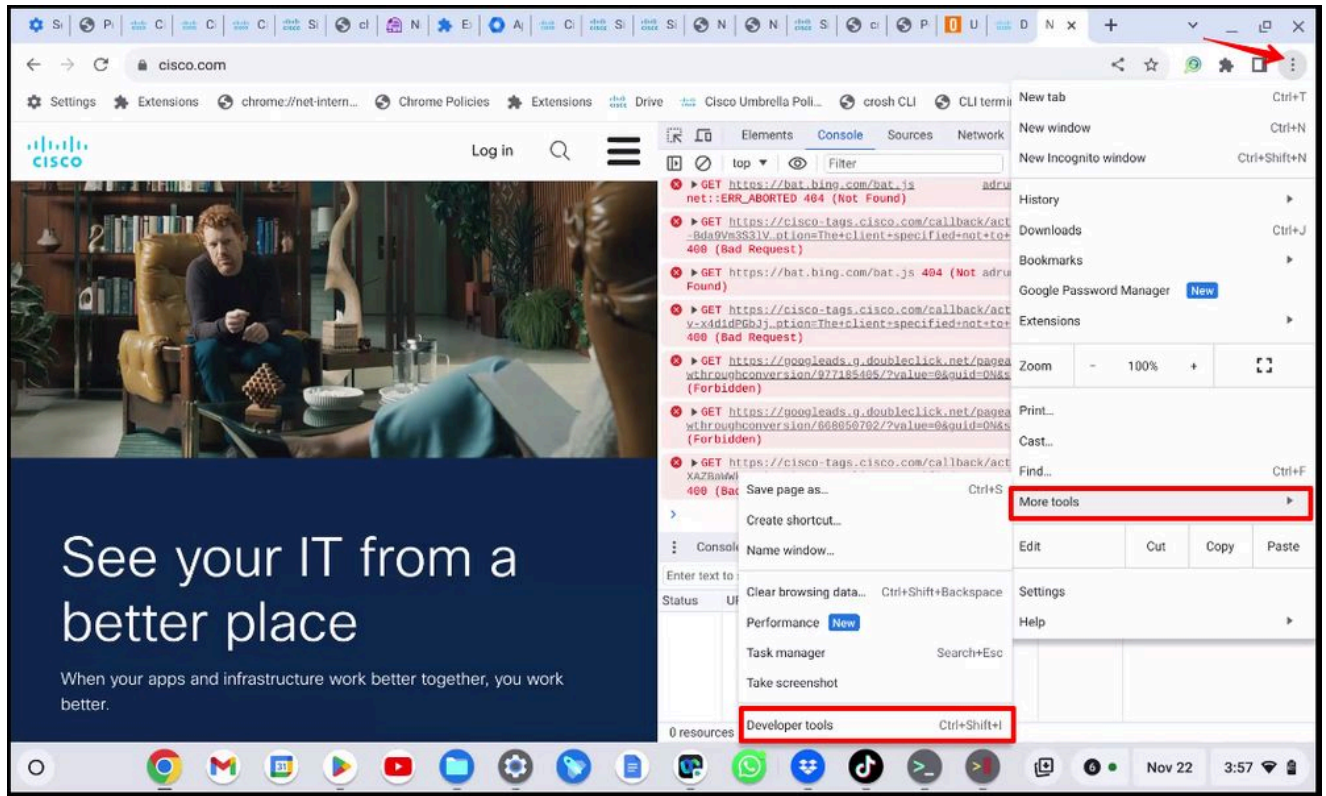
21170242712084

ログの収集

トラブルシューティング時の分析のための特定のタイプのログ/トレースの収集。

コンソール ログ

1. ブラウザウィンドウの右上にある3ドットのオプションボタンをクリックして、オーバーフローメニューを表示します。
2. More tools > Developer toolsの順に選択してコンソールを起動するか、Ctrl-Shift-Iキーを押します。

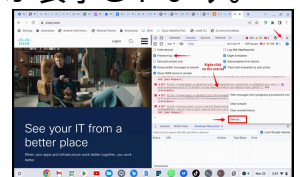


21170259561620

3. Consoleタブを選択して、Preserve logオプションにチェックマークを付けます。
4. サイトにアクセスして問題を再現すると、コンソールウィンドウにログが表示されます。

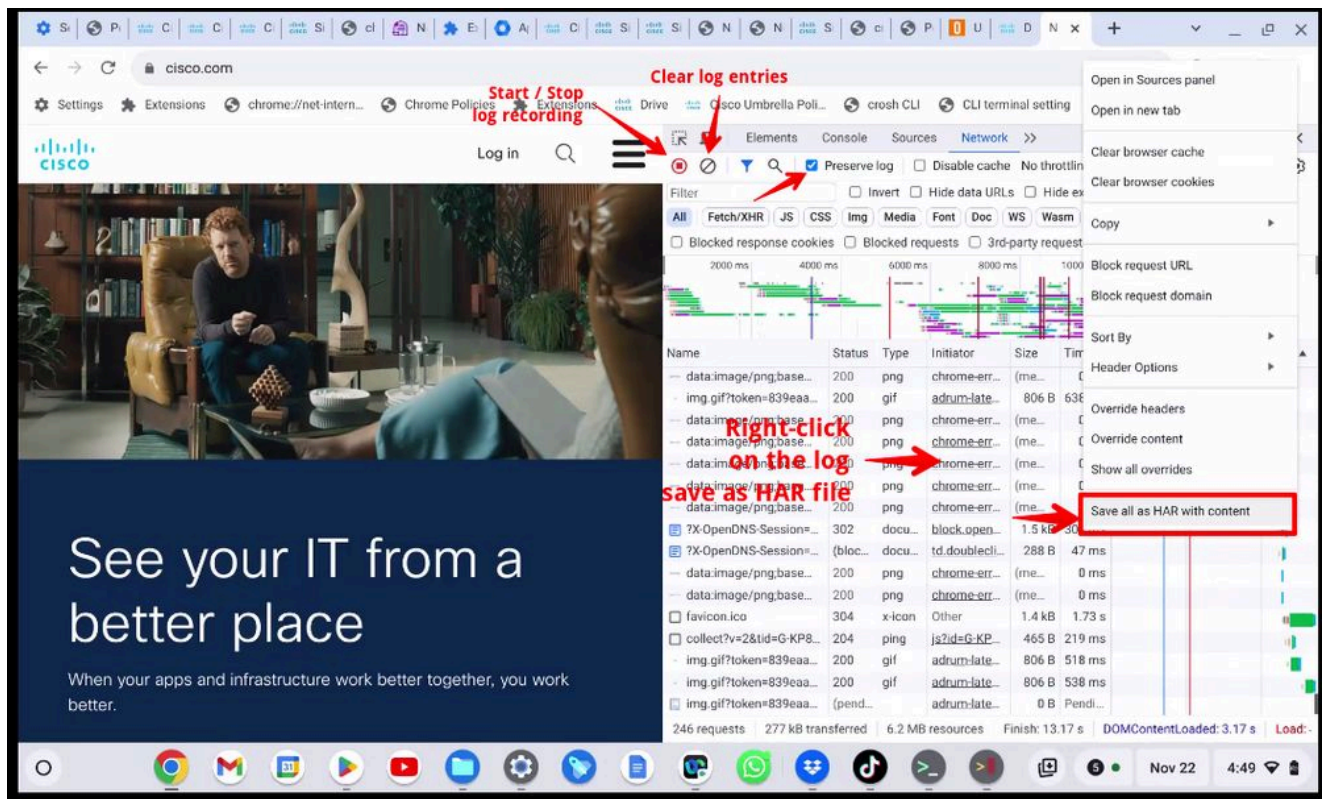
5. ログを右クリックすると、ログを保存するオプションが表示されます。

21170273467796



ネットワークログ

1. ブラウザウィンドウの右上にある3ドットのオプションボタンをクリックして、オーバーフローメニューを表示します。
2. More tools > Developer toolsの順に選択してコンソールを起動するか、Ctrl-Shift-Iキーを押します。
3. Networkタブを選択して、Preserve logオプションにチェックマークを付けます。
4. ログの消去およびログの開始/停止ボタンを使用して、問題の再現時にログの消去およびログ記録の開始/停止を行います。
5. エントリのいずれかを右クリックして、Save as HAR with Contentのオプションを表示します。



21170242714644

パケット キャプチャ

1. ChromebookでCtrl+Alt+Tキーを押すか、ランチャーでCroshを検索して、Croshを開きます。

21170248181524

2. `connectivity show devices`を実行して、パケットキャプチャを実行するネットワークインターフェース

```

crosh
crosh> connectivity show devices
/device/wlan0
Address: 7872643e1bfc
BgscanMethod: simple
BgscanShortInterval: 64
BgscanSignalThreshold: -72
ForceWakeToScanTimer: false
IPConfigs/0: /ipconfig/wlan0_2_dhcp
Interface: wlan0
LastWakeReason: Unknown
LinkStatistics/0/AverageReceiveSignalDbm: -66
LinkStatistics/1/ByteReceiveSuccesses: 318636697
LinkStatistics/2/ByteTransmitSuccesses: 226289593
LinkStatistics/3/LastReceiveSignalDbm: -68
LinkStatistics/4/PacketReceiveSuccesses: 948291
LinkStatistics/5/PacketTransmitFailures: 9
LinkStatistics/6/PacketTransmitSuccesses: 924810
LinkStatistics/7/ReceiveBitrate: 175.6 Mbit/s VHT-MCS 2 80MHz VHT-NSS 2
LinkStatistics/8/TransmitBitrate: 6.0 Mbit/s 80MHz
MACAddressRandomizationEnabled: true
MACAddressRandomizationSupported: true
Name: wlan0
NetDetectScanPeriodSeconds: 120
PasspointInterworkingSelectEnabled: true
Powered: true
ScanInterval: 60
Scanning: false
SelectedService: /service/0
Type: wifi
WakeOnWiFiAllowed: false
WakeOnWiFiFeaturesEnabled: none
WakeOnWiFiSupported: true
WakeToScanPeriodSeconds: 900

```

イスをリストします。

21170273469588

3. `packet_capture —device [network device name]`を実行して、パケットキャプチャを開始します。
4. パケットキャプチャを停止するには、通知でCtrl+Cを入力するか、Stopをクリックします。パケットキャプチャファイルは、Downloadsフォルダに保存されます。

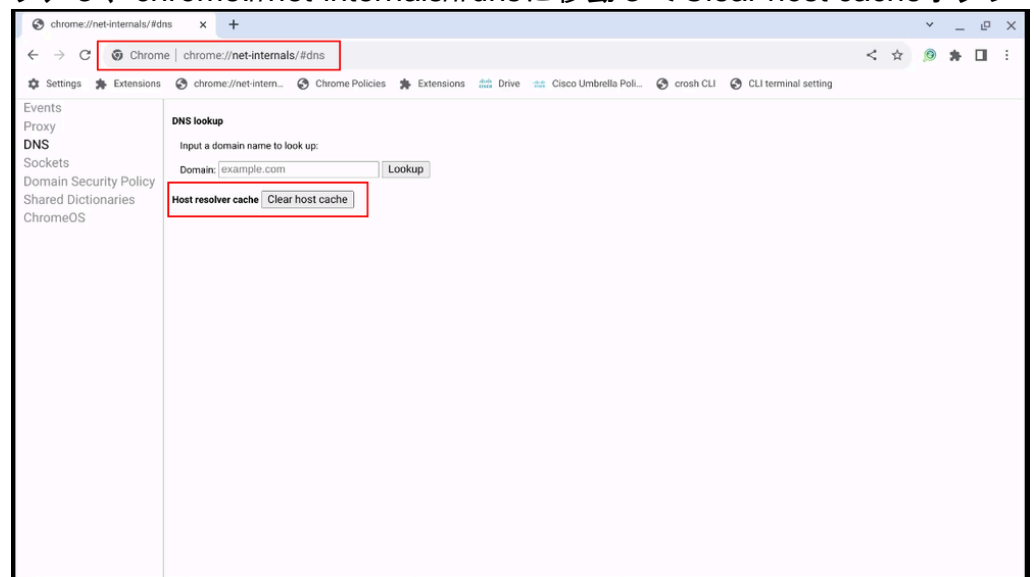

```
crash
Address: 7872643e1bfc
BgscanMethod: simple
BgscanShortInterval: 64
BgscanSignalThreshold: -72
ForceWakeToScanTimer: false
IPConfigs/0: /ipconfig/wlan0_2_dhcp
Interface: wlan0
LastWakeReason: Unknown
LinkStatistics/0/AverageReceiveSignalDbm: -66
LinkStatistics/1/ByteReceiveSuccesses: 318636697
LinkStatistics/2/ByteTransmitSuccesses: 226289593
LinkStatistics/3/LastReceiveSignalDbm: -68
LinkStatistics/4/PacketReceiveSuccesses: 948291
LinkStatistics/5/PacketTransmitFailures: 9
LinkStatistics/6/PacketTransmitSuccesses: 924010
LinkStatistics/7/ReceiveBitrate: 175.6 MBit/s VHT-MCS 2 80MHz VHT-NSS 2
LinkStatistics/8/TransmitBitrate: 6.0 MBit/s 80MHz
MACAddressRandomizationEnabled: true
MACAddressRandomizationSupported: true
Name: wlan0
NetDetectScanPeriodSeconds: 120
PasspointInterworkingSelectEnabled: true
Powered: true
ScanInterval: 60
Scanning: false
SelectedService: /service/0
Type: wifi
WakeOnWiFiAllowed: false
WakeOnWiFiFeaturesEnabled: none
WakeOnWiFiSupported: true
WakeToScanPeriodSeconds: 900

crosh> packet_capture --device wlan0
^CCapture file stored in: /home/user/1ef2c1f66b671607811b5579d1bf45b8dc72df6d/MyFiles/Downloads/packet_capture_2023-11-22_22.57.26_Wkxi02.pcap
Output file may contain personal information. Don't share it with people you don't trust.
crosh>
```

21170242717588

Chrome OSネットエクスポートログ

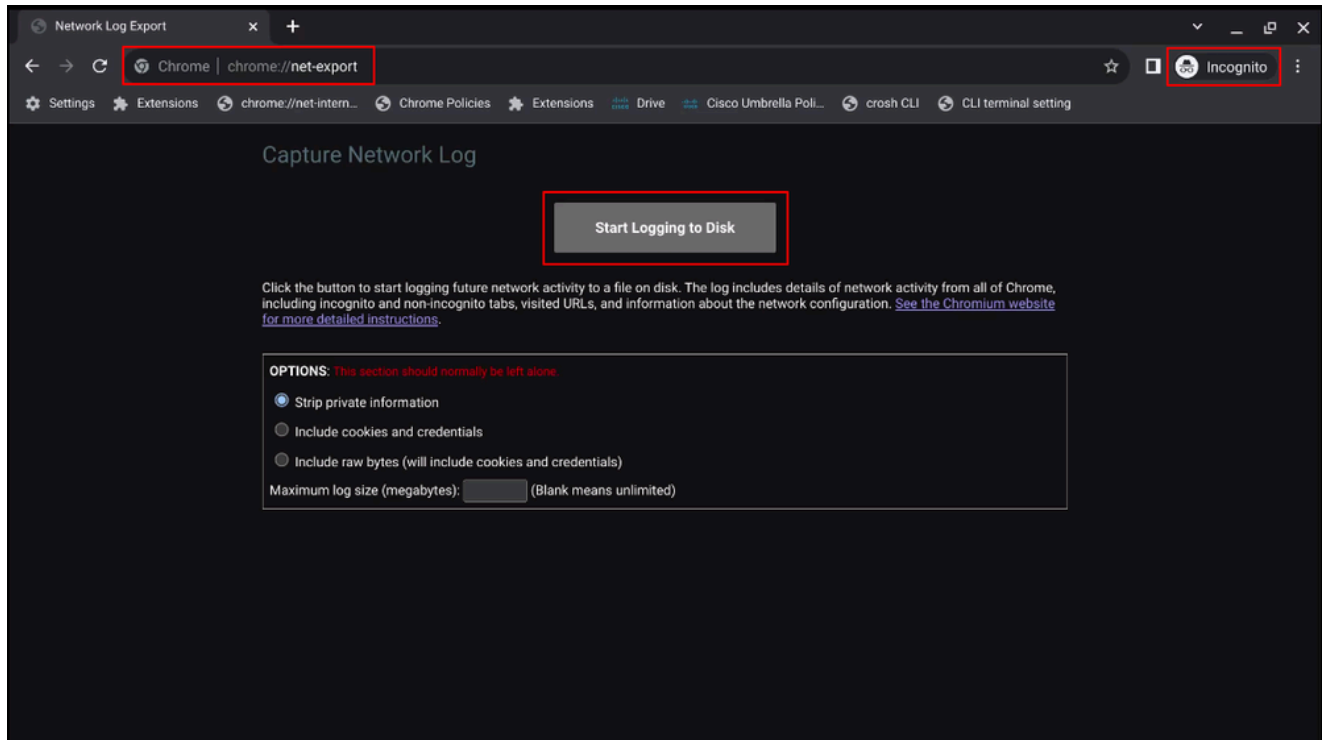
1. すべてのChromeウィンドウとタブを閉じます。トラブルシューティングのためにエクスポートログを収集するときに、他のChromeウィンドウやタブが開いていないことが非常に重要です。
2. DNSキャッシュをクリアし、chrome://net-internals/#dnsに移動してClear host cacheボタン



をクリックします。

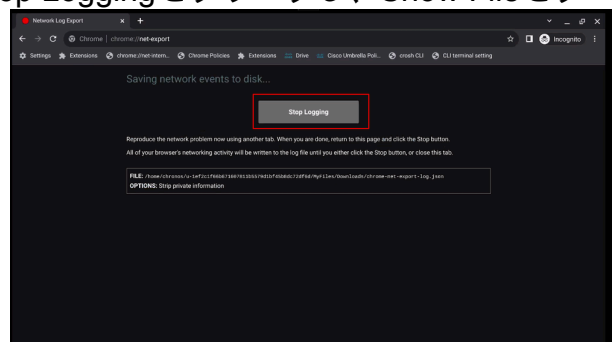
21222739072404

3. 他のページからのキャッシュやCookieを避けるためにIncognitoのタブを開き、URL chrome://net-export/に移動します。

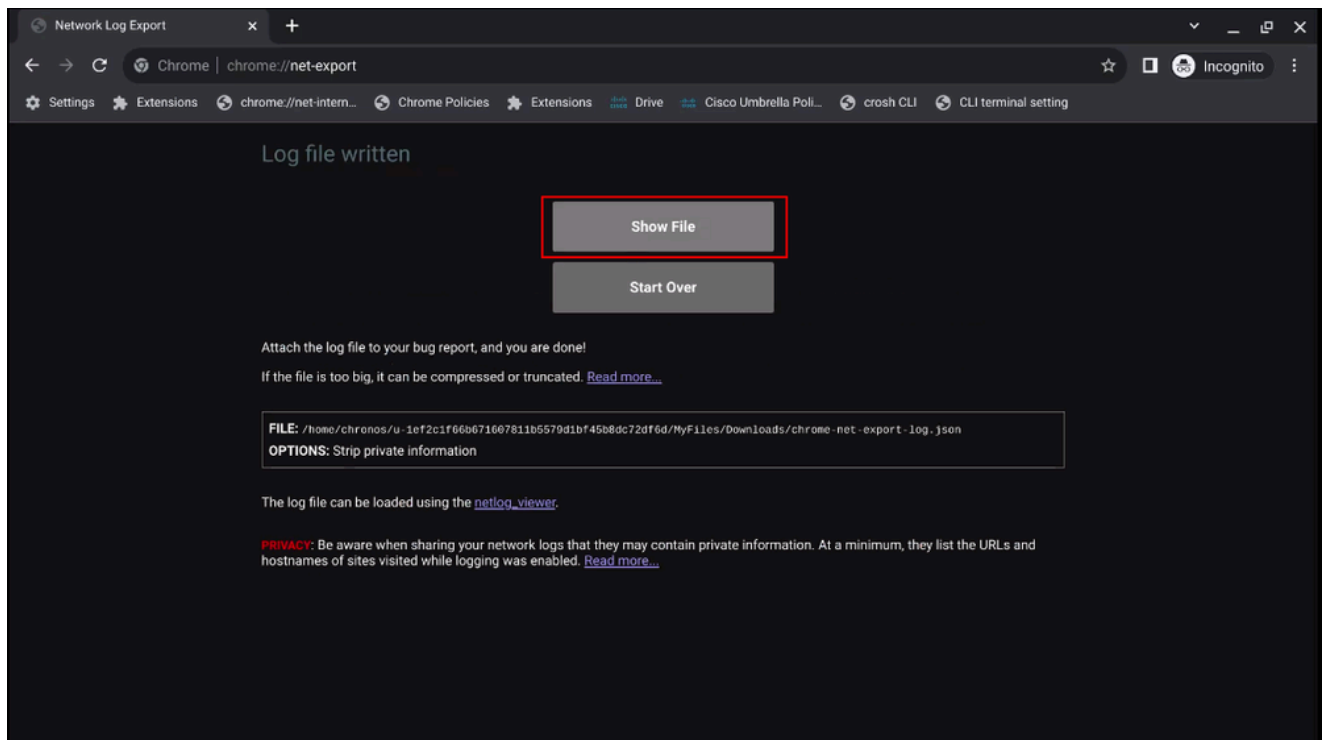


21222739073300

4. ChromeでStart Logging to the Diskボタンをクリックします。
5. 新しいIncognitoブラウザタブで問題のあるWebページを参照し、問題を再現します。
6. 問題を再現した後、chrome://net-export/タブでStop Loggingをクリックし、Show Fileをクリックしてキャプチャされたログを見つけます。



21222754512532



21222754526228

関連記事

- Umbrella Chromebook Client(UCC):Chromeブラウザの開発者モードを有効にします。
- Umbrella Chromebook Clientからの診断ログの取得方法
- Umbrella Chromebook(SWG)クライアントから診断ログを取得する方法

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。